

看護師20年・3人の子育てお母さん

藤田りょうこ

都政・医療福祉対策室長 事務所ニュース



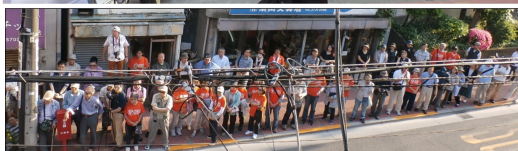
No.40 2017年6月1日

大田区西蒲田6-34-7 ☎3736-1494
fax3735-4522 Twitter@ryokofujitajcp
Facebook @ryoko.fujita.jcp



撮影者：長島可純

『私はいのちを守る看護師です』 『そしていのちを育む母親です』 事務所開きに250人



【写真説明】(右上) 決意表明する藤田りょうこさん。(左上) 応援コールを唱和する参加者。中央に藤田さん、その右吉良よし子参院議員(左下3枚) 歩道を埋める参加者

5月27日、藤田りょうこ事務所開きが行われ、周辺の歩道があふれる250人が参加しました。大森中診療所所長の山本博医師、「藤田りょうこ勝手連」のRoy(ロイ)さん、大竹辰治選対本部長、かち佳代子都議、続いて国会からかけつけた吉良よし子参院議員が訴え。

藤田りょうこの訴え(要約)

私は命を守る看護師です。そして、命を育む母親です。一人一人の人生に希望を与え、成長することが出来る社会をつくるのが私の願いです。ぜひ、かち佳代子都議会議員の後継者として、命を守り命をはぐくみ光らせる私を都政に送ってください。

大田区で1年前に心菜(ここな)ちゃんが生後6ヶ月で命を落としたんです。これは保育士不在の認可外保育園が、設備が不十分なままで経営を続けた結果です。朝まで元気だった心菜

31日開かれた「どうする？築地・豊洲」集会で、かち佳代子都議と東京中央市場労組委員長・中澤誠さんが参加者の疑問にズバリ答えました。



【写真】会場にて、中澤誠さんを囲んでパチリ

ちゃんがお迎えに行ったら救急車で運ばれていた。こんな事は絶対に繰り返してはいけません。

看護師として培った経験と、子育ての中で養ったこのハートと、そしてトライアスリートとして育てた精神力を活かして、この東京都政を、皆さんがしっかり輝けるものにするために私、藤田りょうこを都政にお送りください。全力で闘ってまいります。ぜひよろしく願います。



藤田りょうこのツイッターのフォロワーが5月31日の現在1220人を超えました。
@ryokofujitajcp

畑野君枝

(南関東選出)

衆院議員が31日朝、多摩川駅前の街頭宣伝にかけつけ、応援演説しました。

【写真】31日朝、多摩川駅前



藤田りょうこさんを何としても都政へ

時代の転換点・

確実にバトンを

元都議 城南福祉医療協会理事

池山 鉄夫

大田病院のたたかう仲間

私は今年86歳になりますが、今も城南医療福祉協会の理事として、大田病院の仲間とともに、削られ続ける医療介護分野で闘っています。藤田さんのご主人も理事仲間であり、ご夫妻とももたたかう仲間です。藤田さんが看護師の経験を活かして都政で大いに活躍してもらいたいと思います。

若い二人に大きな期待

私は32歳の時に、大田区議に初当選、10年の区議活動を経て、42歳の時に山崎良一さんと共に都議に当選し、しかも大田区で初めて、共産党が2議席を獲得しました。



池山鉄夫、千代子(夫妻)自宅で

私の議員経験のスタートは藤田りょうこさん、佐藤伸さんとほぼ同じ年代であり、若い二人の挑戦に、一方ならぬ親しみを感じると共に、二人が都政で大いに力を発揮してくれるものと期待しています。時代の大きな転換点を迎えている今、確実にバトンを手渡したいと思います。

老骨に鞭打って

日本美術会会員 画家

東六郷在住

小池 仁



画集『戦争をしてはならない本当の理由』を手に。右が小池さん(16年12月)

私は一昨年、戦争体験をまとめた画集を自費出版した。昨今のきな臭い状況に触発されたことによる。こうした中、若い二人が都政に果敢に挑戦するという。私も老骨に鞭打って頑張りたい。

告示まで22日

本番間近となりました。駅頭宣伝で他党派を圧倒する大勢のみなさんの参加をお願いします。



蒲田西口の夕方
街頭宣伝に
(5月26日)

《藤田りょうこの 駅頭宣伝》

※雨天中止または変更の場合あり

朝の駅頭 7時30分~8時30分

6月2日 (金) 大岡山駅

5日 (月) 洗足池駅

6日 (火) 蒲田西口

7日 (水) 御嶽山駅

9日 (金) 蒲田東急口

夕方の駅頭 17時~18時

6月2日 (金) 蒲田西口

藤田りょうこ成長記 ④

仕事、結婚、子育て 30代編 藤田りょうこ

3年ぶりにフルマラソンで完走

ゆたか訪問看護ステーションでは、職員で「健康づくり」に取り組んでいました。城南保健生協企画、秋の「ヘルスチャレンジ」に登録し、「1週間に3回以上、5キロ以上走る」目標を立てました。忙しくて走る事がままならなかった生活からやや解放され、子どもが寝ている早朝に起きて走る習慣へと切り替えることができました。

おかげで苦手な冬でも走ることができるようになり、3年ぶりにフルマ

ラソンに挑戦。世界遺産に登録された富士山ふもとのマラソン大会で完走しました。(39歳)



右が長男(3歳)、次男(8カ月)